

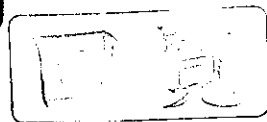
ひとひと
女と男が輝くまち いちばら

プリズム

2017.12
VOL.37

PRISM

～男女共同参画社会をめざして～



市原市マスコットキャラクター オッサくん

PRISMとは

プリズムを通る光は、多方面に分かれて進みます。
そこで、多様な価値観をそれぞれが認め合えることをめざして、
情報誌の名前にしました。

Contents

- 1 地域で輝く!女性リーダーの声P1
- 2 土木の現場で奮闘する女性『ドボジョ』の活躍P2
- 3 イクメンインタビューP3
- 4 おとう飯(はん)始めましたP4
- 5 市原市で「子育てネウボラセンター」開設!.....P5
- 6 平成 29 年度 男女共同参画白書より.....P6
- 7 男女共同参画図書コーナー(編集員おすすめの本)P6
- 8 市民編集員のコーナー.....P7

地域で輝く！女性リーダーの声



平成28年度 ファミール自治会長 石田 雅子さん

市内には525の町会・自治会があり(平成29年4月1日現在)、それぞれ町会長・自治会長が地域のリーダーとなって活躍しています。(女性：平成28年度：27名、平成29年度：19名)

今回は平成28年度に自治会長を務めた、石田さんにお話を伺いました。

「今までと同じ活動をしていても何も変わりません。誰もやらないなら私が!」と笑顔で語る石田さん。

Q 自治会長を務めてみて感じたことはありますか。

自分の地域のことを知り、愛着が持てるようになり、地域や自治会のために何かをしたいと思うようになりました。また、活動していく中で知り合いが増え、コミュニケーションが図れるようになりました。こういったつながりが災害時にも役立っていくのだと感じました。自治会には様々な世代、考え方もつ人がいて、様々な視点からいろんな声が聞ける、これは自治会ならではのと思いました。

Q 印象に残っていることはありますか。

自治会活動を活発化させたいという思いや住民の方の要望があり、自治会として新しい行事(抽選会・音楽会)や資源回収事業を始めたことです。特に抽選会は女性役員が中心になって、企画・運営を行いました。普段から近所づきあいもあり、女性目線での気付きからアイデアが次々と出てきて話し合いもスムーズにできて楽しかったです。

参加した方からの反響も大きく、喜びの声を聞いた際はやりがいを感じましたし、参加しなかった方にとっても、自分たちの自治会が何か活動しているな、という認識にはなってもらえたかと思います。

Q 女性が自治会長を務めることについてどう思いますか。

細かい要望や部分まで分かり、より一層、住民の方の気持ちへ密着できるのではないのでしょうか。改まった形で話し合うと出ない意見も、立ち話のような感じで行うことで、本音が聞けたりもしますし、女性同士の情報網、ネットワークはすごいと思いますよ(笑)。一方で、力仕事が必要になる夏祭りや体育祭などの場面では、特に男性の力は必要だと感じました。男性に負けないように、という考え方ではなく、経験や力が違うので、性差も個性の1つだと考え、自分自身の能力、苦手な部分を認め、頼れる部分は頼っていく。頼っていいと思います。

Q 今後の目標はありますか。

何かしらの形で地域のために手伝いをしていきたいです。ただ、家族の協力なくしては会長の仕事も務められませんでしたので、1番大事なのもちろん自分の家庭ですね。



土木の現場で奮闘する女性『ドボジョ』の活躍

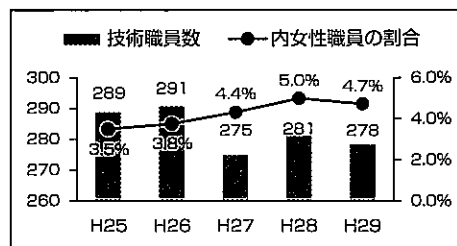
土木と聞くと男性の職場というイメージが強いですが、近年は女性の進出が増加傾向にあり、こうした土木分野で活躍している女性を『ドボジョ』と呼び、理系科目を学んだり理系の職業に就いたりする『リケジョ』、農学系科目を学ぶ『ノケジョ』と並び、活躍が期待されています。

市原市役所の技術職員における女性技術者の占める割合

市原市における技術職員数をみると、平成29年4月1日現在の女性技術職員は、278人中13人(4.7%)となっており、4年前と比べると年々女性の割合が増加傾向であることがわかります。

今回は、そんな女性技術職員のなかで、今後の活躍が期待される現役の『ドボジョ』にインタビューをさせていただきました。

技術職員数と女性職員数の推移



地元市原で躍動する『ドボジョ』



土木技師

鶴岡 恵理さん(市原市役所土木部南部土木事務所)

Q 土木という仕事を選んだきっかけは？

幼い頃に、圏央道の計画を耳にしてから道路が開通するまでに、多くの時間を要していたことが幼いながらに不思議で、後の進路選択の要因になりました。実は、大学を卒業してからすぐに土木の道に進んだわけではなく、前職は全く別の業種でしかも女職場でしたが、幼い頃の思いが忘れられず土木分野に再挑戦しました。

Q 今はどのような仕事をしていますか？

道路の維持修繕に関わる仕事をしています。市民の方から受けた道路に関する要望を調査することや、陥没や崩落等の修繕工事を発注するのが主な業務です。時には調査に行った現場で陥没を埋める作業や、枝切り等をすることもあります。

Q 土木の分野で働いてやりがいを感じる時やメリットは？

自分が携わった工事の現場が完成し、機能が改善したところを確認するときにやりがいを感じます。また、土木の分野で働く女性のメリットとして、よく「女性目線の細やかな視点で現場を見る」などと言われていますが、残念ながら私には知識も経験も乏しいので、そんなかつていいことは言えません。しかし、女性が入ることにより、職場が少し違う雰囲気になることは確かだと感じています。職場全体からしても新たな視点でより良いものを見出せる！そんな気がします。

Q これから土木の分野で働きたいと思っている女性にメッセージを！

自分の課題でもあることなのですが…「フットワークをかるく！一歩踏み出す勇気をもつ！」ことです。土木は現場へ行くことが多く、その際は常に作業着、時には安全靴とヘルメットを被って出かけます。現場で学ぶことが多いのに加え、机上では基準や構造を調べるなど、バラエティーに富んだ仕事だと思います。そのため、何事もすぐに行動することが求められると感じています。また、男職場に入るにあたり、少なからず不安はあると思います。だからこそ、一歩踏み出す勇気と、まずは行動してみることが大切だと思います。

イクメンインタビュー

「イクメン」という言葉、耳にしたことがある人も多いと思います。「イクメン」は、子育てに積極的に取り組む男性を指す言葉で、最近では一般的によく使われる言葉になりました。それに伴い、育児休暇を取得して子育てに励む男性や、育児休暇が取りやすいように職場の風土改革に取り組む企業が増えてきています。そうした男性の働き方に対する意識が変わりつつある中で、市内で働きながら育児をしているKさんにお話を伺いました。

Q 育児休暇を取得したのはいつ頃でしたか？

子どもが生まれる前からでしたね。出産予定日の4日前から取得して、休日をはさんで10日間お休みをいただきました。

Q 育児休暇を取得してよかったことはなんですか？

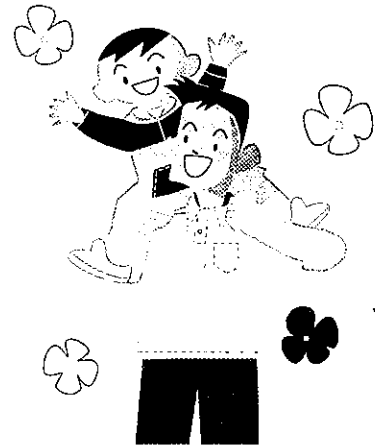
出産に立ち会えたことです。育児休暇を取得していなかったら出産には間に合わなかったと思います。人生で二度とないわが子の出産の瞬間に立ち会えたことは本当によかったです。

Q 育児休暇を取得する際の職場の反応について教えてください。

私の場合、上司がいわゆる「イクボス」で、育児休暇に対して非常に前向きに考えてくれる方なので、取得については快く受け入れてくれました。ただ、私が休暇を取ることによって、他の社員の負担が増えないように事前に準備をしたり、休暇中も連絡を取ることで支障がないように心がけていました。

Q 育児休暇をとろうか迷っている人に向けて言いたいことはありますか？

仕事はもちろん大事ですが、生まれたばかりの子どもと過ごす時間もかけがえのないものだと考えています。今は以前に比べて育児休暇に対する社会の理解が広がっていますから、家族や自分のためにも育児休暇を取得することをお勧めします。あらかじめ育児休暇を取得することを周囲に連絡し、その準備をしていれば周囲もサポートしてくれると思いますよ。



●インタビューを終えて●

育児休暇を取得するのに気になってしまうのは、やはり仕事のことだと思います。

こうしたときに、Kさんの職場のようにお互いにフォローしあえる職場環境を整備しておくことで、前向きに育児休暇を取得できる人も増えていくのではないのでしょうか。



“おとう飯”^{はん}始めてみました



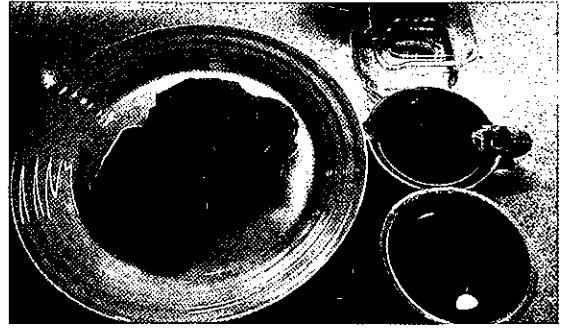
内閣府男女共同参画局では現在、子育て世代の男性の家事・育児等、中でも特に料理への参画促進を目的とした「おとう飯(はん)始めよう」キャンペーンを実施しています。(URL: <http://www.gender.go.jp/public/otouhan/index.html>)

ということで、子どもが生まれてからめっきり料理をしなくなった研究員Sがおとう飯を作ってみました。

鶏もも肉の旨煮

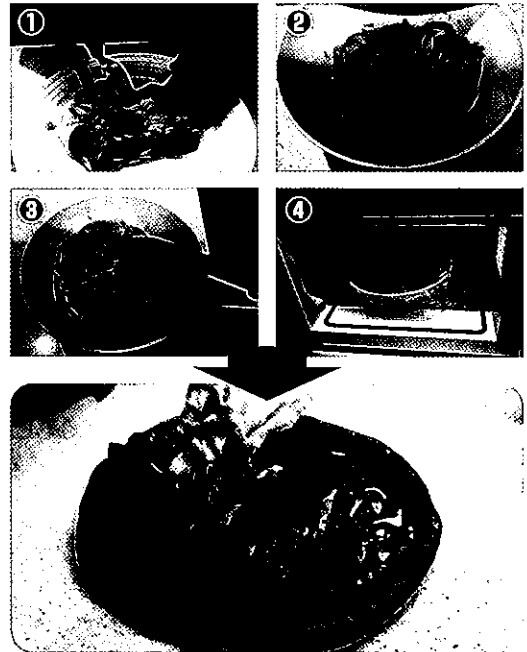
材料

- 鶏もも肉：1枚
- (調味料)
- にんにくチューブ3cm
- 醤油：大さじ3
- みりん：大さじ4



作り方

- ①鶏もも肉の皮が付いてない方にフォークを刺し、にんにくを塗り込む。
- ②鶏もも肉が丁度入るくらいの深めの耐熱皿に醤油とみりんを入れる。
- ③その上に鶏もも肉を入れて、反対側にひっくり返す(味をまんべんなく付ける)。
- ④鶏もも肉の上にピタッと張り付くようにラップをかぶせる。
- ⑤600ワットのレンジで3分、鶏もも肉をひっくり返してさらに2分加熱する。
- ⑥レンジから器ごと取り出して3～5分程度放置して冷ます。
- ⑦包丁で1センチ幅に切る。



おとう飯を作ってみて

結婚、子育てと生活が変化していくなかで、いつの間にか家庭での役割が固定化され、料理をしなくなっていたことに気がつきました。

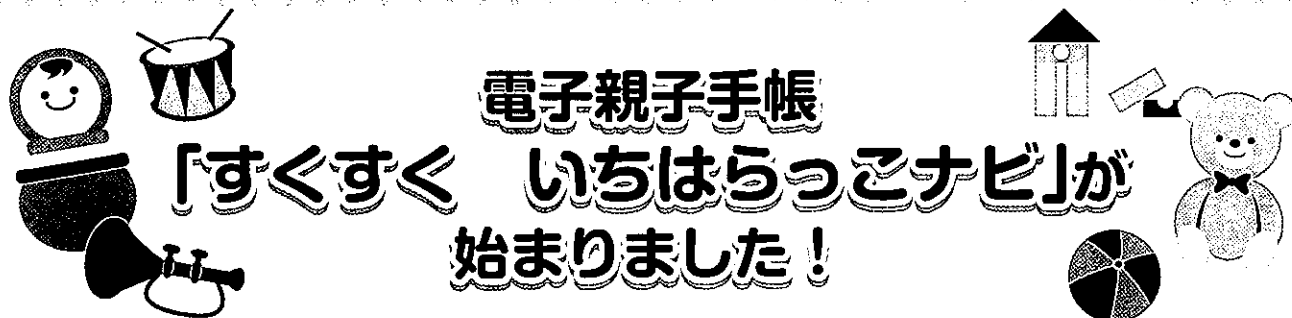
料理を作ることは楽しいので「上手に」とか「手際よく」とか気合を入れすぎず、多少の失敗は目をつぶってもらいながら、続けていければと思いました。

皆さんも「おとう飯」始めてみてはいかがでしょうか？

市原市で「子育てネウボラセンター」開設！

みなさまは「ネウボラ」という言葉を御存知でしょうか？「ネウボラ」とはフィンランドで実施されている妊娠から子育てまでの切れ目のない支援制度のことです。

女性の社会進出が進んでいるフィンランドでは、ネウボラをはじめとする男女共同参画社会推進のための積極的な施策が展開されています。当市では今年度からこれまであった子育て支援を充実させるため、子育てネウボラセンターを開設しました。今回はその施策の1つを御紹介します。



育児や仕事に忙しいママをサポートしてくれる便利な機能を御用意しております。（※従来の冊子型の母子健康手帳をそのまま電子化したものではありません。従来の冊子型の母子健康手帳と併用して御利用ください。）

<主な機能>

①予防接種のスケジュールを管理

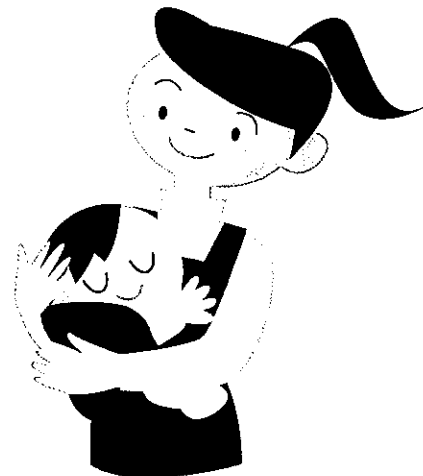
ケータイ・スマホから予防接種スケジュールを確認でき、予防接種の期日が近づくとお知らせメールが届きます。

②育児日記や写真を記録できる

従来の紙の母子健康手帳にはない子どもの成長記録や子育てにまつわる記念日等を写真で記録できる機能もあり、妊婦さんやママだけでなく、パパや離れて暮らす御家族とも情報を共有することができます。

③子どもの成長が一目でわかる

身長・体重を入力し、グラフで子どもの成長を確認できます。



<利用方法>

下記サイトから御登録いただけます。

<http://ichihara.city-hc.jp/>



WEBにアクセス可能なスマートフォン、携帯電話、パソコンで御利用いただけます。登録は無料です。ただし、利用に必要な通信料、利用環境等に関する費用は利用者負担となります。

問合せ先：子育てネウボラセンター 電話 23-1215

水道総務課 Tさん

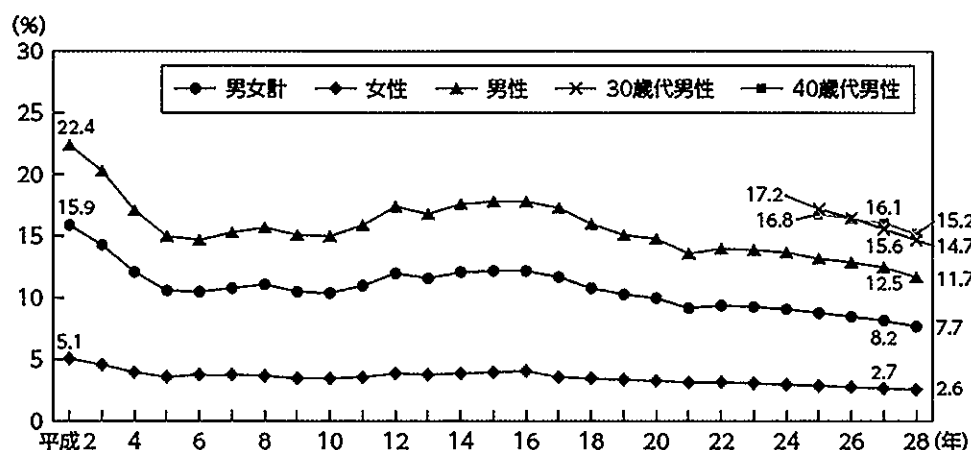
平成29年度版の男女共同参画白書には、平成28年度男女共同参画社会の形成の状況及び、平成29年度の男女共同参画社会の形成の促進施策について、記述されています。

子育て世代は働き盛り？

週間就業時間60時間以上の雇用者の割合を男女別に見てみますと、子育て期にある30歳代及び40歳代の男性において、女性や他の年代の男性と比べて高い水準となっています。

職場における男女の固定的な役割分担意識がいまだに強く残っていることの表れと言えるでしょう。

週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移（男女計、男女別）



(備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。
 2. 非農林業雇用者数（休業者を除く）に占める割合。
 3. 平成23年値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

南部土木事務所 Mさん

男女共同参画図書コーナー

『片想い』東野圭吾/文春文庫

ミステリの名手による、さまざまな性のありようを物語の中心に据えた小説です。

トランスジェンダーなど、それぞれの苦悩を抱く登場人物たちを通じ、やがて男らしさ、女らしさとはなにか、など、より普遍的な問いかけを読者へと投げかけてきます。

娯楽小説としての興味に誘われて読み進めるうちに、現代社会のLGBTを取り巻く問題たちに気づかせてくれます。

『キッチン』吉本ばなな/角川文庫

唯一の肉親を亡くした女性の視点から描かれる本作は、その流麗な文体や温かみのある内容で人気を博しました。

作中で描かれる家族は、血縁で結ばれた旧来の家族像とは違うものです。しかし、魅力的なゲイ、えり子さんなど、暖かな人々の存在が静かな余韻を残してくれます。

クリーン推進課 Mさん

1 事業環境と労働環境の変化

千葉コンビナート京葉中部地区の各事業所も揃って操業開始50年を迎えている。この間、事業環境は大きく変化した。二度のオイルショックを経て、成長拡大し、海外輸入製品の攻勢に老朽化が進む設備を駆使しながら世界最高水準の生産技術力で対抗しているのが現在である。

一方で、事業環境のみならず、労働環境(労働力、時間、質)も、大きく変化し、その対応も、企業にとっては重要な課題であり、私たちの製造現場や関連する建設事業においても女性の活躍の場は、徐々にではあるが確実に広がりつつある。



2 国内の女性活躍の社会運動及び推進活動の変遷

欧米を端に1960年代から始まった「男性と平等な権利を求め対等の地位や自分自身で職業や生き方を選べる自由を獲得する運動」、所謂「ウーマンリブ運動」は、国内では、当時のマスメディアの悪影響か、本質的な部分に目が向けられず、肉体的、或いは精神的に強い女性、「男勝り」が「ウーマンリブ」の代名詞となってしまい、女性の為の労働環境変化のムーブメントまでは及ばなかった。

一方、近年では、労働力の変化や人材の多様性の観点から男女均等雇用法、女性活躍推進法等の法整備が進み、再び女性活躍の環境は整いつつあるものの、2015年の男女格差を測るジェンダーギャップ指数データでは、我が国は、世界144か国中、111位であり、女性活躍後進国と言わざるを得ず、今後の企業の取組みや対応に大きな期待や注目が集まっている。

3 企業の課題と今後の取組み

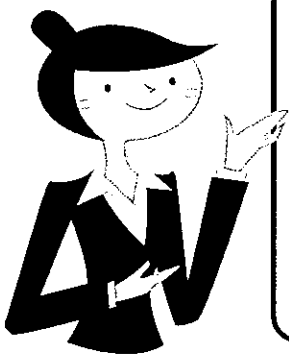
単なる企業の外向けイメージやコンプライアンスに基く、女性の雇用促進や管理職へ登用推進の数値目標達成の位置づけではなく、企業の労働戦力として、広く女性の適性、能力を認識し、或いは能力開発を積極支援し、企業の「生き残り戦略/勝ち残り戦略」という経営的な位置づけへの認識変化が重要課題であると考えられる。

また、男女間の三大差違は、①妊娠・出産、②子育て、③筋力・体力と云われてきたが、今後、更なる働き方改革によるテレワーク等の推進や、AI(注1)やIoT(注2)の技術革新による労働ロボットの普及等により、労働力に関する性差は、間違いなくミニマイズの方角に進んできている。更に、就業に際して、問われる労働の種類や業務の内容、或いは必要とされる技術の中味さえも大きく変わる可能性もある。

従って、私たちは、単に女性活躍の門戸を広げる為の環境整備や背中を押すことだけに留まらず、男性の働き方改革も推進し、一体となって共同参画し、労働環境の変化に的確に対応し、モノづくり大国、技術立国を守ってゆかなければならない。

(注1) AI: Artificial Intelligenceの略語で、人工的に人間の知能を実現させたソフトウェアシステム

(注2) IoT: Internet Of Thingsの略語で、様々な装置や機器がインターネットに接続され、相互に情報交換し制御する仕組み



「女性に対する暴力をなくす運動」期間 11月12日～25日

配偶者等からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引やセクシュアルハラスメント等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。

DV
相談ナビ

ここに
でんわ
0570-0-55210

お近くの相談窓口におつなぎします。プライバシーは守られます。安心して相談してください。(相談料無料)



女性に対する暴力根絶の
シンボルマーク

●編集・発行 市原市役所 企画部 人権・国際課

〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 TEL 0436-23-9826 FAX 0436-23-7252

ホームページアドレス <http://www.city.ichihara.chiba.jp> Eメールアドレス jinkenkokusai@city.ichihara.chiba.jp